

本業の強みを生かし第2の創業

ビル総合管理業の横浜セイビ（代表取締役・川口健治氏）は事業所向けに培ったノウハウを活かして、家事代行業「Copier（コピエ）」に進出した。

自社の技術を活かし、時代に合ったサービスの提供を模索した結果、創業30周年を機に、行き着いたのが家事代行業だった。Copierは夫婦共働きや高齢者、単身というさまざまな世帯のニーズに応じたプランを用意し、2時間でキッチンや



風呂・洗面所までプロの清掃技術を提供する＝写真。

利用者で多いのは高齢者、夫婦共働き世代。

Copierを率いる取締役の川口大治氏によると「年齢を重ねるごとに家事が重荷となったり、共働きで家事が行き届かないという家庭が増えている。その中で家事代行ニーズが生まれ、利用者も順調に伸びている」と語る。

開始当初から「家事代行業は究極の接客業」を基本ポリシーとして掲げ、サービスの質に気を配っている。家事代行スタッフを採用後、Copier独自のプログラムによりスタッフ一人一人に計25時間の研修を受けさせ、接客から清掃技術、コンプライアンスに至るまで徹底的に指導。こうした人材育成が継続利用につながっている。

川口氏は「2年目は新たに整理収納・お片づけサービスを始めた。今後もサービスの質・量の両面を充実させ、継続利用者をもっと増やしていきたい」と意気込んでいる。

●横浜セイビ

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町1161-1
石井ビル1階

☎045(864)5006 FAX045(864)5018

URLは<http://www.copier.jp>

(情報提供・横浜企業経営支援財団)